

《キーワード》 腫瘍及び腫瘍類似疾患、炎症性疾患、遺伝子疾患

《担当者名》 安彦 善裕

【概要】

口腔病理学特論・実習では、口腔病理の診断と研究について学び、理解することを目標とする。当コースでは二つの科目があり、ひとつは口腔における病理診断で、もうひとつは口腔の病理学的研究である。口腔の病理診断においては、日常的に遭遇する頻度の高い疾患の、その診断方法を中心に学ぶ。口腔の病理学的研究においては、口腔の病態の解明や、口腔疾患の新たな診断法や治療法の開発に向けた実践的な研究デザインや研究手法について学ぶ。

本科目では、口腔病理医になるにあたっての基本的な知識と技術を習得することを最終目標とする。

【学修目標】

1. 一般的な口腔疾患の病理学的診断ができる。
2. 口腔疾患の原因や病態で解明されていないことについて説明できる。
3. 口腔疾患における、今後開発が進むべき診断、治療方法について説明できる。
4. 正しい細胞培養操作を行うことができる。
5. 実験動物を正しく取り扱うことができる。
6. 口腔病理学的研究に必要な形態学的手法を理解し、習得する。
7. 口腔病理学的研究に必要な分子生物学的手法を理解し、習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	病理ゼミ	口腔病理学	安彦 善裕
2	Problem-based learning	口腔疾患の病態	安彦 善裕
3	Problem-based learning	口腔疾患の診断、治療	安彦 善裕
4	細胞培養実験の実習		安彦 善裕
5	動物実験の実習		安彦 善裕
6	形態学的手法の実習		安彦 善裕
7	分子生物学的手法の実習		安彦 善裕
8	データ解析の実習		安彦 善裕

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、実習レポート、診断レポート等で評価する。

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

本科目の到達目標について、しっかり予習し、理解しておくこと。